

第3・4学年 国語科学習指導案

平成28年6月1日(水) 第5校時
3学級3名(3年生2名・4年生1名)

| 第3学年 | 第4学年 |
|--|---|
| <p>本単元でつきたい力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基にしながら読むこと。 <p style="text-align: right;">【C 読むこと・(1)ウ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすること。 <p style="text-align: right;">【C 読むこと・(1)エ】</p> <p>単元を貫く言語活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「物語に隠れている「しかけ」を見つけ、物語の面白さを紹介しよう。」 <p>本教材では、場面と場面を関連づけ、登場人物の行動や会話から人物像をとらえ、美月がウサギの化身であることを暗示する「しかけ」を見つける。そして、見つけたしかけをまとめファンタジーの楽しさを4年生に紹介する。</p> | <p>本単元でつきたい力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと <p style="text-align: right;">【C 読むこと・(1)ウ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章を読んで考えたことを話し合い、一人一人の感じ方についての違いのあることに気付くこと。 <p style="text-align: right;">【C 読むこと・(1)オ】</p> <p>単元を貫く言語活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「物語の模造表を作って紹介しよう。」 <p>本単元では、中心となる人物「のぶよ」の気持ちがどう変化したのかを考える。そして気持ちが変化したことがわかる出来事や心に残った言葉や文を構造表のまとめ3年生に紹介する。</p> |
| <p>1 単元名 「ゆうすげ村の小さな旅館」【東書 3年 上】</p> <p>2 単元について</p> <p>単元観</p> <p>本単元では、場面と場面の関連の中から、登場人物の行動や会話文に着目し、美月がウサギの化身であることを暗示させる「しかけ」を見つけることで、ファンタジーの楽しさを味わうことをねらいとしている。これまで児童は「すいせんのラッパ」の学習において、挿絵を手がかりに物語の場面分けを行った。そしてそれぞれの場面に出てくる登場人物の特長を基にあらすじをまとめ、気持ちや特徴に注意しながら音読に取り組むことが出来た。本教材は、ゆうすげ村の小さな旅館でおかみさんをしているつぼみさんが、人手が足りず困っている時、美月という不思議な娘が現れ無償でつぼみさんを助け、旅館はなんとか忙しい時期を乗り越えることが出来るというお話である。2人の関わりを通してほのぼのとした心の交流がえがかれている。また、物語の中には「美月がウサギの化身であること」を想像させる表現が随所に見られる。</p> | <p>1 単元名 「走れ」【東書 4年 上】</p> <p>2 単元について</p> <p>単元観</p> <p>本単元は、場面と場面の関連の中から、中心人物や登場人物の気持ちの大きな変化に気づき、どこで、どのように変わったのかを読み取り、感想を伝え合うことが出来ることをねらいとしている。これまで児童は、「こわれた千の楽器」の学習においては、楽器たちの気持ちの変化に気をつけて読み取った。そして読み取った気持ちの変化に注意しながら音読に取り組むことができた。本教材は、中心人物のぶよと家族との心の交流を描いた物語である。走るのが苦手なぶよと弟けんじは運動会の日を迎える。けんじは母が応援に来てくれることを期待するが、仕事のため遅れてしまう。昼食の時けんじは母への思いをぶつけてしまい、のぶよは重い気持ちのまま午後の競技を迎える。しかしスタートした瞬間、背中を押したのは母と弟の声援の声であった。重くのしかかっ</p> |

題名の「ゆうすげ」や登場人物の名前、「ウサギダイコン」や「耳のよくなるまほう」、他にも美月の容姿や行動など繰り返し詳しく読むことで、ファンタジー作品としての「しかけ」の面白さや工夫に気づくことができるであろう。

本学級の児童は女子2名である。人数が少ないため、多様な意見に出会ったり、意見を交流し合ったりする経験が少ない。児童は、前単元「自然のかくし絵」の学習では、段落ごとに中心文を探し、短くまとめる学習を行った。この学習では、中心文を選ぶ方法を明確にし、2人は意見を交流させながら、それぞれの段落をまとめることができた。児童は自分の考えを筋道立ててまとめて書くことができるようになってきている。しかし、自分の思いを明確にして述べることができず、躊躇してしまう場面が度々ある。話すときには自分の考えをはっきり話すことを、今後学習していかなければならないと考えている。

指導に当たって、第1次では、既習の教材（かさこじぞう）を使い、物語には場面があること、場面ごとにあらすじをまとめることなど、学習の順序の見通しを持たせる。また言葉調べや音読を繰り返すことで教材に慣れるようにする。次に第2次では物語の全体像をつかむため、まず場面ごとに「いつ」「どこで」「だれが」「どうした」のかをおさえ、それを短い文章にまとめる。短くあらすじを書く活動を積み重ねることで、読解の苦手な児童にも出来事のおおまかな流れを捉えさせ、学習への自信を持たせたい。第3次では、物語全体を振り返り、「しかけ」探しを行い、この物語ならではの面白さや工夫に気づかせる。また、本教材と内容が共通するファンタジー作品を教室に用意し、いつでも読むことが出来るような環境を作る。このような機会を与えることでさらなる想像力を養い、読書範囲を広げることも期待したい。

ていた思いがほどこけ、最後まで走り切ることが出来る。家族の声援により、のぶよの心情は大きく変化する。このクライマックス場面での中心人物の変容を意識して読み取り、構造表に表すことで、物語の構成の面白さや工夫について気づくことが出来ると考えた。また、一番近くで支えてくれる家族の存在について改めて意識できるきっかけにもなるであろうと考えている。

本学級の児童は男子1名である。1人で学習しているため、友達の意見を聞いたり深めたりすることが難しい。教師との問答で学習を深めることしかできていない。したがって授業においては3年生のアドバイス役として、2人に関わる機会を作っている。しかし今後、授業の中でどのようにして同学年レベルの多様な意見や考えがあることをとらえさせていくは課題である。

指導に当たっては、第1次では既習の教材（かさこじぞう）を使い、物語にはクライマックスの場面があり、中心人物の気持ちが大きく変容することなど学習の見通しを持たせる。また、語句調べや音読を繰り返すことで教材に慣れるようにする。第2次では物語の全体像をつかむため場面分けを行い、あらすじをまとめる。第3次では、中心人物の変容を抑えるため場面と場面のつながりをつかめるように物語の構造を表にまとめる。そして、クライマックスの場面を境に何がどうかわったのかどこでそれが分かるのかを見つける。物語全体を読み返し、言葉や表現を探す活動を通して、物語の構造が見え、登場人物の関わり合いや、伏線による場面と場面のつながりを捉えることができると考えている。また、本教材のように中心人物の変容を捉えやすい作品を紹介し、読みの観点の定着を図るようにしたい。

3 単元の目標と評価規準

| 第3学年 | | | 第4学年 | | |
|---|--|--------------------------------|--|------------------------------------|---------------------------------|
| ○物語の「しかけ」を探することで場面と場面を関連づけて読み、中心人物の人物像や気持ちの変化を想像しながら読むことができる。 | | | ○物語の中で起こる中心人物の気持ちの大きな変化とその理由を想像しながら読むことができる。 | | |
| 国語への関心・意欲・態度 | 読む能力 | 言語についての知識・理解・技能 | 国語への関心・意欲・態度 | 読む能力 | 言語についての知識・理解・技能 |
| ○物語を読むことに興味を持ち、物語のしかけを探しながら読もうとしている。 | ○それぞれの場面で起きた出来事を読み取り、場面と場面を関連付けて読もうとしている。 ○物語のしかけを見つけるために、文章中の言葉や表現に着目して読もうとしている。 | ○表現したり理解したりするために、必要な語句を増やしている。 | ○物語に興味を持ち、人物に気をつけて楽しんで読もうとしている。 | ○中心となる人物に着目し、人物の性格や気持ちの変化を読み取っている。 | ○物語に興味を持ち、人物に気をつけて楽しんで読もうとしている。 |

4 単元の指導計画【3学年】(全10時間)

| 次 | 時 | 学習活動 | 関 | 読 | 言 | 評価規準 | 評価方法 |
|---|--------------|--|---|---|---|---|----------|
| 一 | 1 ・ 2 | ○ 既習の教材を使い物語の読み方を振り返る。 ○ 物語を通読し言葉の意味を調べ学習の見通しを立てる。 | ◎ | | | ・既習の学習を振り返ることで、教材への興味・関心を持ちの学習の見通しを持つようとしている。 ○ 表現したり、理解したりするために必要な語句を増やそうとしている。 | (ノート・発言) |
| 二 | 3 ・ 4 | ○ 「時」を表す言葉を手がかりにして場面分けをする。 | | ◎ | | ・「時」を表す言葉を手がかりにして場面が分かれている所を探しながら読もうとしている。 | (ノート・発言) |
| | 5 | ○ 第1場面のつぼみさんの人物像や場面の設定を捉えあらすじをまとめる。 | | ◎ | | ・表現に注意して、つぼみの人物像や物語の設定を読もうとしている。 | (ノート・発言) |
| | 6 | ○ 第2～4場面で起きた出来事を読み取り、つぼみさんや美月の様子や気持ちを読み取り、あらすじをまとめる。 | | ◎ | | ・起きた出来事を読み取り、文章中の語や表現に注意してつぼみさんと美月の様子や気持ちを想像しながら読もうとしている。 | (ノート・発言) |
| | 7 | ○ 第5～7場面で起きた出来事を読み取り、つぼみさんや美月の様子や気持ちを読み取り、あらすじをまとめる。 | | ◎ | | ・起きた出来事を読み取り、文章中の語や表現に注意して、つぼみさんと美月の様子や気持ちを想像しながら読もうとしている。 | (ノート・発言) |
| | 8 (本時) | ○ 物語の全体を振り返り、美月の行動や会話文から人物像を読み取り、物語の「しかけ」になっている部分について話し合う。 | | ◎ | | ・美月の行動や会話など物語の叙述に着目し「しかけ」に気づき読もうとしている。 | (ノート・発言) |
| 三 | 9 ・ 10 | ○ 前時に読み取った「しかけ」をまとめ、作品の面白さを4年生に紹介する。 | | | ◎ | ・物語の「しかけ」をウェビングマップにまとめ紹介しようとしている。 | (発言・成果物) |

4 単元の指導計画【4学年】(全10時間)

| 次 | 時 | 学習活動 | 関 | 読 | 言 | 評価規準 | 評価方法 |
|---|-----------|--|---|---|---|--|----------|
| 一 | 1・2 | ○既習の教材を使い、物語の読み方について振り返る。 ○物語を通読し、言葉の意味を調べ学習の見通しを立てる。 | ◎ | | ◎ | ・既習の学習を振り返ることで、今後の学習への興味・関心を持ち、学習に見通しを持つようとしている。 ・表現したり理解したりするために必要な語句を増やそうとしている。 | (ノート・発言) |
| | 3・4 | ○「時」や「場所」を表す言葉を手がかりにして場面を分ける。 | | ◎ | | ・「時」や「場所」を表す言葉を手がかりに場面を分けようとしている。 | (ノート・発言) |
| 二 | 5 | ○ 第1場面ののぶよの様子や、昨年の運動会の思い出から、人物像や場面の設定を捉え、あらすじにまとめる。 | | ◎ | | ・表現に注意してのぶよの人物像や場面の設定を読もうとしている。 | (ノート・発言) |
| | 6 | ○ 2～4場面で起きた出来事と中心人物の気持ちを読み取りあらすじにまとめる。 | | ◎ | | ・2～4場面を読んで出来事とともにのぶよの気持ちを行動や会話文の中から読もうとしている。 | (ノート・発言) |
| | 8 | ○ 5～6場面で起きた出来事と中心人物の気持ちをあらすじにまとめ、クライマックスの一文について考える。 | | ◎ | | ・5～6場面を読んで出来事とともにのぶよの気持ちを行動や会話文の中から読もうとしている。 | (ノート・発言) |
| 三 | 9 (本時) | ○ クライマックスの前後で何がどのように変わったのかが、分かる表現を見つけて線引きを行い、のぶよや登場人物の変容を読み取る。 | | ◎ | | ・のぶよの気持ちや、けんじとお母さんの関係が変わったと分かる表現を見つけて読もうとしている。 | (ノート・発言) |
| | 10 | ○ まとめた表を基に作品の面白さや工夫について3年生に話す。 | | | ◎ | ・まとめた構造表を基に作品の面白さや工夫について話そうとしている。 | (成果物・発言) |

| | |
|--|---|
| <p>5 本時の学習</p> <p>(1) 目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物語の「しかけ」について理解し、物語全文の中から探すことができる。 <p>(2) 評価規準</p> <p>読 ・美月の行動や会話など物語の叙述に着目し「しかけ」に気づき読もうとしている。</p> <p>(3) 準備物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物語全文を拡大したもの <p>(4) 展開</p> | <p>5 本時の学習</p> <p>(1) 目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心人物や、対人物の何がどう変わったのか具体的に文章の中から見つけることができる。 <p>(2) 評価規準</p> <p>読 ・のぶよの気持ちやけんじとお母さんの関係が変わった、と分かる表現を見つけて読もうとしている。</p> <p>(3) 準備物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物語全文を拡大したもの 構造表 <p>(4) 展開</p> |
| <p>学習活動 (☆評価, ◎教師の支援)</p> | <p>学習活動 (☆評価, ◎教師の支援)</p> |
| <p>1 学習課題を提示する。</p> <p>全文から、美月がウサギだということを暗示しているところをさがそう。</p> <p>2 美月がウサギだとわかる手がかりを見つけサイドラインを引く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5段落で手がかりとなる表現を提示し、理由を考える。 <p>◎1つの段落に着目させ、課題について例を示して共通理解を図る。</p> <p>3 全文を音読する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手がかりがないか、考えながら音読する。 <p>4 5段落から26段落までを読み、美月がウサギであることを暗示しているところにサイドラインを引く。</p> <p>◎見つけることが出来にくい児童には、挿絵もヒントになっていることを助言する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見つけた手がかりをウェビングマップにし黒板にまとめ伝える。 <p>5 ウサギのどんなイメージとつながっているのかを確かめ合う。</p> <p>☆美月がウサギの化身であることを暗示する表現を見つめることができたか。</p> <p>6 今日の学習を振り返る。</p> <p>◎本時の学習で分かったことや、感じたことをノートに書く。</p> <p>7 学習したことを想起しながら段落交代で音読をする。</p> | <p>1 全文を音読する。</p> <p>2 学習課題を提示する。</p> <p>クライマックスの前と後では、何がどうように変わったのだろう。</p> <p>3 クライマックスの一文の前と後で、大きく変わったことを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・のぶよ「走りたくないのぶよ」 → 「どこまでも走れるのぶよ」 ・「すれちがっていたお母ちゃんとけんじ」 → 「いっしょに応援しているふたり」 <p>4 変容前と変容後の、のぶよの気持ちや家族の関わりが分かる表現を探し、サイドラインを引く。</p> <p>◎見つけやすくするため、線引きは各場面2文程度に絞る。</p> <p>5 変化したところが分かる表現と段落を付箋に書き構造表にまとめる。</p> <p>◎「前の□場面 (青色の付箋) では~だったのが、(クライマックスの) 後の□場面 (赤色の付箋) では~に変わっている。」と発言できるように関連付けながらまとめさせる。</p> <p>☆のぶよの変容が分かる表現を見つめることができたか。</p> <p>6 今日の学習を振り返る。</p> <p>◎本時の学習で分かったことや、感じたことをノートに書く。</p> <p>7 学習したことを想起しながら音読をする。</p> |